

上海だより

上海日本人学校  
浦東（プードン）校

# 松井的上海

第1号  
平成31年4月7日  
発行者 松井 明

## はじめまして

2, 3年生の皆さん、お久しぶりです。1年生の皆さんは初めてですね。私はこの3月まで城北中学校でお世話になっていた松井 明（まつい あきら）です。4月から城北中学校に籍をおいて、中華人民共和国の上海市にある上海日本人学校 浦東（プードン）校に赴任しています。妻と息子の3人で上海に住み始めました。

時々、こちらの様子を「上海だより」として、皆さんに届けようと思います。

## 上海に着きました

4月5日（木）の9時40分、成田空港発の飛行機に乗り、3時間20分かけて上海へ。上海浦東空港に12時に到着しました。ここで、「あれっ、おかしいな」と思った人は素晴らしい！「なるほど、そういうことか」と思った人はもっと素晴らしい！！日本と上海には1時間の時差があります。日本時間から-1時間です。皆さんの給食準備開始時間の12時35分は上海では11時35分ということです。

上海に来てまず驚いたのは、上海は大都市ということです。日本人学校の先生は、上海市のいくつかの公寓（こうぐう・日本でいうマンション）に分かれて住んでいます。私と家族が住んでいる公寓は高層ビルの中にあり、田舎者の私は、気持ちがなかなか落ち着きません。上海の都会ぶりは改めて紹介します。



私の部屋のベランダからの風景

## 上海の人はとても優しい

城北中のみなさんに、まず伝えたいのは、上海の人はとても優しいということです。今までの私は、中国の人は声が大きく、自分のことだけを主張し、マナーを守らず、目的のためならガンガン進む・・・、という勝手なイメージでした。こちらに来て3日目に入りましたが、上海の人はとても優しいです。感動するほど優しいです。私たちが実際に目の当たりにした出来事を2つ。

1つ目は、地下鉄に乗っていた時です。上海では、お年寄りや子どもには積極的に席をゆずると聞いてはいましたが、そのゆずり方がすごい。お年寄りや子どもが乗ると、それを見ると大きく手招きをして「この席にすわって！」と言って席をゆずります。日本ではさりげなく席を立つか、席をゆずらない人も多い中、上海の人の優しさを感じました。

2つ目は、家族で買い物へ行った時です。私たちはヤクルトを買おうとしていたのですが、なかなか見つかりません。やっと見つけたヤクルトですが、なぜかジュース屋のショーケースに並んでいます。私たちは当然、中国語は話せないので、カタコトの英語と身振りでヤクルトが欲しいと話しますが、店員さんはヤクルトを売ってくれません。そこへ、通りすがりの中年の中国人男性が困っている私たちを見て、カタコトの日本語で私たちに話しかけてくれました。そして、中国語で店員さんとやり取りして、このヤクルトはジュースに入れて販売するもので、これだけでは売れないことを私たちに日本語で説明してくれました。その後、ヤクルトが売っているところまで私たちを案内してくれました。私たちはもう感動です。「謝謝（シェイシェイ・ありがとう）」と何度もお礼を言いました。

私もこの3年間で中国語を勉強して、日本で困っている中国の人を助けられるようにしたいと思いました。

私が見て感じた上海の様子をお届けします。お楽しみに！